

# かけはし

沖代小学校だより 第2号

平成27年6月 発行

文責：栗田 英代

<http://syou.oita-ed.jp/nakatu/okidai>

## 地区連絡会がはじまりました



6月12日（金）より、地区連絡会が始まりました。子ども会ごとに、地区での子どもたちの遊びや登下校の様子、危険箇所等について情報交換し、それぞれの役割と責任を持って**連携・協力して協育**していくことが目的です。

第1回目の太陽子ども会では、放課後の遊び場、自転車の乗り方、登下校の2列・3列歩行等が話題になりました。沖代校区は、道幅が狭いのに交通量は多いため、**常に危険と隣り合わせ**です。学校でも注意していきますが、もし、危険な行動を見かけましたら、**すぐにその場で注意**してくださるようお願いいたします。

また、ヘルメットについても話題になりました。2008年に道路交通法が改正され、13歳未満の児童のヘルメット着用が**保護者の努力義務**になっています。市内のある学校では、**ヘルメットをかぶっていたおかげで命拾い**したケースが、いくつもあります。暑いし、かっこ悪いし、ということから、定着しにくかったと思いますが、万が一の事故での子どもの命を守るために、「**沖代小みんなで**」ヘルメット運動を進めていきましょう。



地区連絡会へのたくさんのご参加、どうぞよろしくお願ひします！



## 雨の日歩いて得るもの

梅雨に入りました。稲の生長には欠かせない雨ですが、登下校や休み時間など、子どもにとっては少々我慢を強いられる季節でもあります。

我が子が小学生だった頃、午後から雨が降ると、義母から携帯に電話がかかっていました。「雨が降り出したから、傘を持って迎えに行ってもいいかしら」と。「濡れて帰るのも、経験です。家に帰れば、タオルも着替えもあるから、風邪はひきません。自分で、朝天気予報を見ずに、『持ってきてくれるからいいや』とあてにする子になっても困りますから。」と断っていました。（でも、おばあちゃんの優しさで、時々は傘を持って行っていたようですが）

雨の日に、車で送ってもらう子どもがいます。雨の日に歩けば、びしょびしょに濡れることもあるし、寒いこともあるし、車がはねた水たまりの水をかぶることもあります。それが、かわいそうだからと車で送ることは、本当に子どものためになっているのでしょうか。子どもは、これから社会の荒波に出て行く人たちです。雨ぐらいでへこたれては、乗り越える力はずきません。雨の日に得るものは、たくさんあります。特に事情がなければ、「つれてって」と言われても、「歩いて行きなさい」と、笑顔で送り出しませんか。「かわいい子には旅をさせよ」昔の人の言葉は、今の時代にも金言です。

## 6月の生活目標



# 雨の日の過ごし方を考えよう

梅雨に入っています。雨の日は、休み時間を室内で過ごさなければなりません。雨の日は廊下が湿って滑りやすく危険です。「安全で楽しい過ごし方」について、児童朝会で呼びかけたり、各学年や学級でも話し合ったりして取り組んでいるところです。

### 雨の日の休み時間の過ごし方

- ・教室や図書室で静かに過ごす。
- ・教室や廊下で走ったり暴れたりしない。
- ・雨があがっても運動場に水たまりがある時は、運動場では遊ばない。

### ヘルメットの着用を！

保護者との自転車同乗時や自ら自転車を乗車中に事故や転倒によってケガあるいは死亡した際、そのダメージの「6割」が頭部、というデータがあります。子どもは大人に比べて頭が重く、転倒した際頭にケガをしやすい傾向がありますので、お子様の同乗時および乗車中は必ずヘルメットを着用させて、万一のために頭を守ってあげる事が最も有効となります。



### 水路を大切にしましょう！

沖代小校区には水路がたくさんあります。田植えの季節になり、田んぼに水が入ります。毎年この時期になると、「子どもたちが田んぼの水をせき止めていた板をはずしたり、流したりするいたずらをして困る。」という苦情が寄せられます。また、水路の水が増えた際、近くで遊んでいると大変危険です。学校では、水路に近づかないよう、水路で遊ばないよう指導をしています。水田や稲作の大切さ、家庭でも話題にしてください。



### 不審者に注意を！！

5月下旬から6月上旬にかけて、校区内で不審者の通報（「声かけ」事案）が発生しています。登下校時はもちろん、放課後や休日も、「いかのおすし」を心がけ、油断無く過ごすよう呼びかけて下さい。

